

第2学年 投書した人の立場の違いを考え、自分の考えをまとめる

1 新聞活用のねらい

第1学年では、投書には多様な立場や考えがあることを学習した。
第2学年では、あるテーマについて、立場の違いによる主張の差を理解するとともに、自分自身の考えを重ね合わせる「情報の加工」力の育成を目指す。

2 学習指導要領との関連

- 第2学年及び第3学年「B書くこと」の(1)のイ……自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。
- 第2学年及び第3学年「C読むこと」の(1)のオ……目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。

3 学習計画と指導のポイント

- ①新聞記事の投書欄を集める
 - 中学生や同世代の人々の投書や、その投書への賛成、反対意見などを記した投書を集めさせる。
 - ある投書に関連する「○日付本欄……」といった表記法の特徴に触れ、集め方のポイントを理解させる。
 - 立場の違いを考えるという課題を確認し、対比する内容の投書や多様な考え方を引き出せる内容のものを選ぶように助言する。
- ②集めた記事のなかから比較する視点を決める
 - ここでは、資料1、2を取りあげた。「手作り弁当を」主張する中学生の投書と、それに対する主婦の「自分も弁当作りに参加しては？」という投書と比較し、冷凍食品使用の是非を視点として設定した。資料①②
- ③比較する項目にしたがって、2つの投書の内容を深く読み取る
 - 身近な題材であり、内容の読み取りにあたっては自分の経験を振り返りながら感想をもつように助言する。
- ④自分の考えに近い投書の筆者にあてて、手紙形式で感想をまとめる
 - 手紙文の形式を踏まえ、資料1、2の筆者あてに自分の考えを伝える感想を書かせる。資料③
 - 小グループあるいは全体で発表し、自分の表現力向上に役立てる。

4 評価

- 地方紙や全国紙の投書欄から、目当てとする投書を一定期間継続して探し出すことができたか。
- 自分なりに違う立場の考えを比べる視点を定めることができたか。
- 視点をもとに、深く読み取ることができたか。
- 自分の考えと比べて感想をまとめることができたか。

総合的な学習の時間

ワンポイントアドバイス



▶「総合的な学習の時間」は、自ら学び、自ら考え、問題を解決する力などの「生きる力」の育成や学び方、ものの考え方の習得などを狙っている。関連して、学校で学んだ知識が、実生活とどう結びつくか、さらに実生活においてどう生かされていくかが重要視される。ここでは、同年代である中学生の日常的な体験に基づく提案に対して反響が起こった事例を取りあげた。自分の体験を振り返って感想をまとめる活動に結びつき、自分の食生活を考え直すきっかけとなった。また、ディベートや調べ学習も可能になる。

